

# 日本地震学会 2022 年度秋季大会

日程 2022 年 10 月 24 日(月)～26 日(水)

会場 北海道立道民活動センター「かでの 2・7」(札幌市中央区北 2 条西 7 丁目)

【大会受付】 展示ホール (1 階)

【A 会場】 かでのホール (1 階) 【B 会場】 大会議室 (4 階) 【C 会場】 820 研修室 (8 階) 【D 会場】 520 研修室 (5 階)

【授賞式および記念講演】 A 会場

【ポスター会場】 1010, 1020, 1030, 1040, 1050, 1060, 1070 会議室 (10 階), 展示ホール (1 階)

【団体展示】 展示ホール (1 階)

## 【口頭セッション】

	A 会場		B 会場		C 会場		D 会場	
10 月 24 日 (月)	09:30 )	S22. 北海道周辺の沈み込み帯における地震・津波に関する諸現象	09:30 )	S09. 地震活動とその物理	09:45 )	S06. 地殻構造	09:30 )	S14. 地震予知・予測 S11. 地震に伴う諸現象 S13. 地殻流体と地震
	12:00		12:00		12:00		11:45	
	13:30 )	S20. 授賞式および記念講演 (A 会場)						
	15:45 )	S22. 北海道周辺の沈み込み帯における地震・津波に関する諸現象	16:00 )	S09. 地震活動とその物理	16:00 )	S06. 地殻構造 S19. 地震一般・その他	15:45 )	S12. 岩石実験・岩石力学・地殻応力
	18:00		17:45		18:00		17:15	
10 月 25 日 (火)	09:30 )	S09. 地震活動とその物理 S08. 地震発生の物理	10:00 )	S21. AIによる地震学の発展 S23. ベイズ統計学による地震データ解析とモデリングの深化	09:45 )	S01. 地震の理論・解析法	09:30 )	S16. 地盤構造・地盤震動 S17. 津波
	12:30		12:15		12:30		12:00	
	14:00 )	S08. 地震発生の物理	13:45 )	S23. ベイズ統計学による地震データ解析とモデリングの深化	14:00 )	S01. 地震の理論・解析法	13:30 )	S17. 津波
18:00	15:45			15:30		16:15		
		16:15 )	S05. 地球熱学 S15. 強震動・地震災害	15:45 )	S03. 地殻変動・GNSS・重力	16:30 )	S04. テクトニクス	
		17:45		17:45		17:15		
10 月 26 日 (水)	09:30 )	S08. 地震発生の物理	09:30 )	S15. 強震動・地震災害	09:45 )	S03. 地殻変動・GNSS・重力	09:45 )	S07. 地球及び惑星の内部構造と物性 S18. 地震教育・地震学史
	12:15		12:30		12:00		12:00	
	13:45 )	S08. 地震発生の物理	14:00 )	S15. 強震動・地震災害	13:30 )	S02. 地震計測・処理システム	13:30 )	S10. 活断層・歴史地震
	16:30		16:30		16:15		16:15	

## 【ポスターセッション】

10 月 24 日 (月)	09:30～12:00	S03. 地殻変動・GNSS・重力 (1040 会議室) S16. 地盤構造・地盤震動 (1020, 1030 会議室) S17. 津波 (1040 会議室)
	15:30～18:00	S01. 地震の理論・解析法 (1060 会議室) S08. 地震発生の物理 (1050, 1070 会議室)
10 月 25 日 (火)	09:30～12:00	S04. テクトニクス (1010 会議室) S15. 強震動・地震災害 (1050, 1060 会議室)
	14:00～17:30	S02. 地震計測・処理システム (1070 会議室) S06. 地殻構造 (1030 会議室) S07. 地球及び惑星の内部構造と物性 (1040 会議室) S10. 活断層・歴史地震 (1040 会議室) S11. 地震に伴う諸現象 (1040 会議室) S13. 地殻流体と地震 (1020 会議室) S19. 地震一般・その他 (1020 会議室)
10 月 26 日 (水)	09:30～12:00	S09. 地震活動とその物理 (1020, 1040, 1060 会議室)
	13:30～16:00	S21. AIによる地震学の発展 (1010, 1030 会議室) S22. 北海道周辺の沈み込み帯における地震・津波に関する諸現象 (1070 会議室) S23. ベイズ統計学による地震データ解析とモデリングの深化 (1070 会議室)

本大会は口頭セッションとポスターセッションを並行して開催します。

S05, S12, S14, S18, S20 はポスター発表なし。

学会の委員会活動を紹介する「S24. 社会に対する委員会の活動」は 3 日間「展示ホール」に掲示されます。

ポスター発表は原則として、発表日午後のポスターセッション終了時刻まで、終日掲示されます。

懇親会は開催されません。



A会場 (かでのホール) 午後 S22. 北海道周辺の沈み込み帯における地震・津波に関する諸現象 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	B会場 (大会議室) 午後 S09. 地震活動とその物理 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)	C会場 (820研修室) 午後 S06. 地殻構造 S19. 地震一般・その他 通常講演 (講演時間12分・質疑応答3分)
17:30 S22-15 稠密OBSアレイ観測から検出された日本海溝―千島海溝会合部における地震波速度の時間変化 *佐藤 豪大 <sup>1</sup> 、東 龍介 <sup>1</sup> 、高木 涼太 <sup>1</sup> 、日野 亮太 <sup>1</sup> 、篠原 雅尚 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)	17:30 S09-16 ヒクランギ沈み込み帯北部における2014年および2019年スロースリップイベントに伴うラクトニック微動活動の時間分布 *青山 都和子 <sup>1,3</sup> 、望月 公廣 <sup>1</sup> 、山下 裕亮 <sup>2</sup> 、山田 知朗 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>3</sup> 東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻)	17:30 S19-02 日本周辺の台風により励起されたprimary microseismsの震源推定 *河上 洋輝、須田 直樹(広島大学)
17:45 S22-16 広帯域海底地震計とF-netによる北海道襟裳沖沖の浅部VLF観測 *東 龍介 <sup>1</sup> 、高木 涼太 <sup>1</sup> 、馬場 慧 <sup>2</sup> 、日野 亮太 <sup>1</sup> 、篠原 雅尚 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 東京大学地震研究所)		17:45 S19-03 NASA土星衛星タイトン探査ミッションDragonflyの紹介～氷衛星における地震観測の実現に向けて～ *小野寺 圭祐 <sup>1</sup> 、白石 浩章 <sup>2</sup> 、田中 智 <sup>2</sup> 、川村 太一 <sup>3</sup> 、三谷 烈史 <sup>2</sup> 、村上 英記 <sup>4</sup> 、山田 竜平 <sup>5</sup> 、鎌田 俊一 <sup>6</sup> 、木村 淳 <sup>7</sup> 、黒川 宏之 <sup>8</sup> 、西田 究 <sup>1</sup> 、関根 康人 <sup>8</sup> 、辻 健 <sup>9</sup> 、ローレンツ ラルフ <sup>10</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> JAXA宇宙科学研究所、 <sup>3</sup> パリ地球物理研究所、 <sup>4</sup> 高知大学、 <sup>5</sup> 金津大学、 <sup>6</sup> 北海道大学、 <sup>7</sup> 大阪大学、 <sup>8</sup> 東京工業大学地球生命研究所、 <sup>9</sup> 東京大学工学部、 <sup>10</sup> Johns Hopkins University)

#は招待講演

## ポスター発表 10月24日(月)09:30~12:00 ポスター会場 S03P(1040会議室)／S16P(1020,1030会議室)／S17P(1040会議室)

S03P. 地殻変動・GNSS・重力	S16P. 地盤構造・地盤震動	S17P. 津波
S03P-01 地殻変動データの指標化に向けた試行 *木村 久夫、小林 昭夫、山本 剛靖、露木 貴裕(気象庁気象研究所)	S16P-01 水中スピーカーを用いた反射法地震探査における 音圧レベル・分解能向上のための最適な発振波形の検討 *熊谷 直音、木村 海登、鶴 哲郎(東京海洋大学)	S17P-01 津波早期警報のためのHFレーダーを用いたデータ同化:2022年トンガ火山津波のケーススタディ *王 宇晨 <sup>1</sup> 、今井 健太郎 <sup>1</sup> 、Mulia Iyan <sup>2</sup> 、有吉 慶介 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>1</sup> 、佐々木 健一 <sup>3</sup> 、金子 仁 <sup>3</sup> 、阿部 泰人 <sup>3,4</sup> 、佐藤 喜暁 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 横浜研究所、 <sup>2</sup> 理化学研究所 開拓研究本部、 <sup>3</sup> 海洋研究開発機構 むつ研究所、 <sup>4</sup> 北海道大学 大学院水産科学研究院)
S03P-02 2016年熊本地震の断層終端部における断層すべりと密度構造の3次元分布 *小林 知勝 <sup>1</sup> 、松尾 功二 <sup>1</sup> 、安藤 亮輔 <sup>2</sup> 、中埜 貴元 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 国土地理院、 <sup>2</sup> 東京大学)	S16P-02 DONET海底地震計の高周波数S波およびS波コアの特性の差異 *武村 俊介 <sup>1</sup> 、江本 賢太郎 <sup>2</sup> 、山谷 里奈 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 九州大学、 <sup>3</sup> 防災科学技術研究所)	S17P-02 南海トラフ地震により発生する津波伝播の多様性に関する検討 *大石 裕介 <sup>1</sup> 、新出 孝政 <sup>1</sup> 、古村 孝志 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 富士通株式会社、 <sup>2</sup> 東京大学)
S03P-03 複数GNSS観測網の統合解析に基づく能登半島群発地震に伴う地殻変動 *西村 卓也 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>2</sup> 、太田 雄策 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> 金沢大学、 <sup>3</sup> 東北大学)	S16P-03 1943年鳥取地震で生じた鹿野断層におけるS波反射法地震探査データに見られる断層部の振幅異常 *香川 敬生 <sup>1</sup> 、野口 竜也 <sup>1</sup> 、山田 浩二 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 鳥取大学 工学部、 <sup>2</sup> (株)阪神コンサルタンツ)	S17P-03 稠密沖合津波波形の逆解析による津波波源生成の時空間発展の拘束 *村馬 弘晃(気象庁気象研究所地震津波研究部)
S03P-04 2018年以降GEONETで検出された四国域の長期的・短期的SSE *小沢 慎三郎、宗包 浩志(国土交通省国土地理院地理地殻活動研究センター)	S16P-04 1943年鳥取地震による吉岡断層のごく近傍における微動特性 *野口 竜也 <sup>1</sup> 、西村 武 <sup>2</sup> 、香川 敬生 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 鳥取大学工学部社会システム土木系学科、 <sup>2</sup> 鳥取大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻)	
S03P-05 継続時間1時間のスロースリップイベント(2) *勝間田 明男 <sup>1</sup> 、宮岡 一樹 <sup>2</sup> 、露木 貴裕 <sup>3</sup> 、板場 智史 <sup>4</sup> 、田中 昌之 <sup>3</sup> 、伊藤 武男 <sup>6</sup> 、高森 昭光 <sup>5</sup> 、新谷 昌人 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 富山大学、 <sup>2</sup> 気象庁、 <sup>3</sup> 気象研究所、 <sup>4</sup> 産総研、 <sup>5</sup> 東大地震研究所、 <sup>6</sup> 名古屋大学)	S16P-05 微動および地震観測に基づく鳥取市若葉台における切盛造成地域の地盤震動特性 *西村 武 <sup>1</sup> 、野口 竜也 <sup>2</sup> 、香川 敬生 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 鳥取大学大学院 工学研究科 博士後期課程 社会基盤工学専攻、 <sup>2</sup> 鳥取大学 工学部 社会システム土木系学科)	
S03P-06 東北沖における近年のGNSS音響海底測地観測とその成果 *富田 史章 <sup>1</sup> 、木戸 元之 <sup>1</sup> 、飯沼 卓史 <sup>2</sup> 、太田 雄策 <sup>3</sup> 、本荘 千枝 <sup>3</sup> 、日野 亮太 <sup>3</sup> 、野 徹雄 <sup>2</sup> 、中東 和夫 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学災害科学国際研究所、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 東北大学大学院理学研究科、 <sup>4</sup> 東京海洋大学学術研究院)	S16P-06 高知平野における表層地盤構造に関する調査～微動探査と文献調査～ *山田 伸之(高知大学)	
	S16P-07 H/Vスペクトル比とボーリングデータを用いた神奈川県横須賀市小原台地域の浅部地下構造の推定 *岩瀬 康行 <sup>1</sup> 、加藤 宏次郎 <sup>2</sup> 、水野 祐翼 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防衛大学校応用科学群地球海洋学科、 <sup>2</sup> 海上自衛隊)	
	S16P-08 Estimation of Vs30 using microtremor array records in Thimphu and surrounding towns, the Kingdom of Bhutan *林田 拓己 <sup>1</sup> 、Nepal Nityam <sup>2</sup> 、Pelgay Phuntsho <sup>2</sup> 、大見 士朗 <sup>3</sup> 、Namgay Karma <sup>2</sup> 、Drukpa Dowchu <sup>2</sup> 、井上 公 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 建築研究所 国際地震工学センター、 <sup>2</sup> ブータン経済省地質鉱山局、 <sup>3</sup> 京都大学 防災研究所、 <sup>4</sup> 防災科学技術研究所)	
	S16P-09 地震観測点における微動アレイ観測に基づく地盤増幅率の基礎的検討 *先名 重樹(国立研究開発法人防災科学技術研究所)	
	S16P-10 近地震波形に基づく一次元地下成層構造の推定へのベイズ最適化の適用 *久保 久彦(防災科学技術研究所)	
	S16P-11 2016年熊本地震で発生した副次的な断層における表面波探査 *井上 直人 <sup>1</sup> 、水谷 光太郎 <sup>1</sup> 、北田 奈緒子 <sup>1</sup> 、渡邊 和輝 <sup>2</sup> 、渋谷 典幸 <sup>2</sup> 、小俣 雅志 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 一般財団法人 地域 地盤 環境 研究所、 <sup>2</sup> 株式会社パスコ)	
	S16P-12 超磁歪震源による地下変化の長期モニタリング *國友 孝洋(御嶽山科学研究所)	

## ポスター発表 10月24日(月)15:30~18:00 ポスター会場 S01P(1060会議室)／S08P(1050,1070会議室)

S01P. 地震の理論・解析法	S08P. 地震発生の物理
S01P-01 Antipodal seismic observation and sensitivity kernel for liquid region on the top of the Earth's Inner Core *坪井 誠司 <sup>1</sup> 、Butler Rhett <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構横浜研究所 地球情報基盤センター、 <sup>2</sup> ハワイ大学)	S08P-01 2016年ニュージーランド・カイクウラ地震の応力場とSlip Tendency解析 *岡田 知己 <sup>1</sup> 、松野 弥愛 <sup>1</sup> 、田上 綾香 <sup>1</sup> 、松本 聡 <sup>2</sup> 、河村 優太 <sup>2</sup> 、飯尾 能久 <sup>3</sup> 、佐藤 将 <sup>1</sup> 、中山 貴史 <sup>1</sup> 、平原 聡 <sup>1</sup> 、Bannister Stephen <sup>4</sup> 、Ristau John <sup>4</sup> 、Savage Martha <sup>5</sup> 、Thurber Clifford <sup>6</sup> 、Sibson Richard <sup>7</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、 <sup>2</sup> 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター、 <sup>3</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>4</sup> GNS Science, New Zealand、 <sup>5</sup> Victoria University of Wellington, New Zealand、 <sup>6</sup> University of Wisconsin - Madison, United States of America、 <sup>7</sup> University of Otago, New Zealand)
S01P-02 東北地方太平洋沖地震震源域の波形トモグラフィ:分解能行列の検討 *岡元 太郎 <sup>1</sup> 、竹中 博士 <sup>2</sup> 、中村 武史 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東京工業大学 理学院 地球惑星科学系、 <sup>2</sup> 岡山大学 学術研究院自然科学学域、 <sup>3</sup> 電力中央研究所 サステナブルシステム研究本部)	S08P-02 3次元構造を反映した地震波のGreen関数を用いた2004年紀伊半島沖の地震(Mj7.1)の震源過程解析 *西宮 隆仁(気象庁気象研究所地震津波研究部第二研究室)
S01P-03 沈み込む海洋性地殻内部を伝播するガイド波の数値シミュレーション (2) *河原 純 <sup>1</sup> 、城戸 口 和希 <sup>1</sup> 、椎名 高裕 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 茨城大学大学院理工学研究所、 <sup>2</sup> 産業技術総合研究所地質調査総合センター)	S08P-03 同一アスペリティで発生する地震破壊の多様性と共通点: 2015年宮城沖の Mw6.8地震と Mw6.0-6.4の準繰り返し地震 *吉田 圭佑(東北大学大学院 理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)
S01P-04 アジョイント方程式に基づく波動場の推定とその津波即時予測問題への応用の試み *前田 拓人(弘前大学)	S08P-04 破壊継続時間のばらつきと地震発生領域の関係 *入江 剛毅、中島 淳一(東京工業大学)
S01P-05 2次元ランダム不均質媒質中での歪エンベロープの特徴 *江本 賢太郎(九州大学)	S08P-05 深部低周波地震の成長過程は通常地震と同じなのか? *及川 元己、麻生 尚文(東京工業大学理学院地球惑星科学系)
S01P-06 海水層および海底地盤構造が海面地震動に与える影響の評価 *中村 武史 <sup>1</sup> 、竹中 博士 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 一般財団法人電力中央研究所、 <sup>2</sup> 岡山大学)	S08P-06 What Actually is the Vertical Shock Verbally Reported for Shallow Earthquakes? *上西 幸司(東京大学)
S01P-07 MeSO-net観測点におけるリアルタイム震度時系列の特徴 *久保 久彦、澤崎 郁、山谷 里奈、木村 武志(防災科学技術研究所)	S08P-07 確率的震源時間関数の概形と地震波放射効率 *平野 史朗(立命館大)
S01P-08 日向灘海底地震観測記録から得られる自己相関関数の時間的特徴 *佐藤 泰典 <sup>1</sup> 、山下 裕亮 <sup>2</sup> 、大柳 修慧 <sup>1</sup> 、Garcia Emmanuel Soliman <sup>2</sup> 、篠原 雅尚 <sup>3</sup> 、伊藤 喜宏 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学理学研究科、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>3</sup> 東京大学地震研究所)	S08P-08 地震時の摩擦発熱と鉱物の化学反応による流体圧の上昇と剪断変形の集中、その後の解の不安定化と剪断集中帯の移動について *金木 俊也、野田 博之(京都大学防災研究所)
S01P-09 道北の日本海側だけでなくオホーツク海側でも観測される著しく大きなサイト増幅特性 *野津 厚(港湾空港技術研究所)	S08P-09 剪断粉体モデルにおける地震の発生間隔分布 *坂本 龍之輔、波多野 恭弘(大阪大学)
	S08P-10 高速・低速すべり共通の摩擦則での数値実験 *堀 高峰 <sup>1</sup> 、青地 秀雄 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> フランス地質調査所)
	S08P-11 階層パッチ構造をもつ動的破壊シミュレーションを用いた地震の震源パラメータのスケールリング則の検証 *増田 和貴、金子 善宏(京都大学)
	S08P-12 動的破壊モデルから考察する複雑な断層形状がもたらす条線への影響 *青木 拓実 <sup>1</sup> 、金子 善宏 <sup>1</sup> 、Kearse Jesse <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> Victoria University of Wellington)
	S08P-13 動力学的震源モデルに基づく中央構造線断層帯の運動性の検討(その2) *加瀬 祐子、浦田 優美((国研)産業技術総合研究所)
	S08P-14 不均質な摩擦パラメータを伴う断層における本震前のb値の減少とその要因 *伊東 良、金子 善宏(京都大学)
	S08P-15 数値モデリングにより再現された南海トラフにおける短期的スロースリップのセグメント *松澤 孝紀 <sup>1</sup> 、芝崎 文一郎 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 建築研究所)
	S08P-16 南海トラフ周辺で発生する黒潮蛇行がスロースリップイベントや局所的な海底地殻変動に及ぼす影響の検証 *有吉 慶介 <sup>1</sup> 、永野 憲 <sup>1</sup> 、長谷川 拓也 <sup>2</sup> 、飯沼 卓史 <sup>1</sup> 、中野 優 <sup>1</sup> 、Saffer Demian <sup>4</sup> 、松本 浩幸 <sup>1</sup> 、矢田 修一郎 <sup>1</sup> 、荒木 英一郎 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>3</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、小平 秀一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 北海道大学大学院地球環境科学研究院(現、気象庁)、 <sup>3</sup> 国立研究開発法人防災科学技術研究所、 <sup>4</sup> テキサス大学オースティン校)
	S08P-17 Riedel shear の生成と摩擦パラメータに関する一考察 *福山 英一 <sup>1,2</sup> 、山下 太 <sup>2</sup> 、前田 純伶 <sup>2</sup> 、下田 晃嘉 <sup>1</sup> 、渡辺 俊 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)

10月25日(火) 口頭発表

A会場(かでのホール) 午前
S09. 地震活動とその物理
S08. 地震発生の物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 中村 衛, 松本 聡, 織茂 雅希, etc.

座長 吉光 奈奈(S09), 藤 亜希子(S08)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 田中 明子, 吉光 奈奈, 田屋 大蔵, etc.

A会場(かでのホール) 午後
S08. 地震発生の物理

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 立岩 和也, 中井 公美, etc.

座長 麻生 尚文, 北 佐枝子

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 山中 佳子, 北 佐枝子, etc.

#は招待講演

B会場(大会議室) 午前
S21. AIによる地震学の発展
S23. ベイズ統計学による地震データ解析とモデリングの深化

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 久保 久彦, 堀 隆一, etc.

座長 加藤 愛太郎

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 堀 隆一, 田屋 大蔵, etc.

B会場(大会議室) 午後
S23. ベイズ統計学による地震データ解析とモデリングの深化
S05. 地球熱学
S15. 強震動・地震災害

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 長尾 大道, 野村 俊一, etc.

座長 矢野 恵佑

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 中井 公美, 野々村 拓, etc.

#は招待講演

C会場(820研修室) 午前
S01. 地震の理論・解析法

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 蓬田 清, 野津 厚, etc.

座長 中原 恒, 佐藤 大祐

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 野津 厚, 佐藤 大祐, etc.

C会場(820研修室) 午後
S01. 地震の理論・解析法
S03. 地殻変動・GNSS・重力

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 西田 究, 小菅 正裕, etc.

座長 町田 祐弥, 木下 陽平

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 西田 究, 町田 祐弥, etc.

#は招待講演

D会場(520研修室) 午前
S16. 地盤構造・地盤震動
S17. 津波

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 松島 信一, 浅野 公之, etc.

座長 藤井 雄士郎

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 藤井 雄士郎, 宮腰 淳一, etc.

D会場(520研修室) 午後
S17. 津波
S04. テクトニクス

通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 今井 健太郎, 鳴原 良典, etc.

座長 林 豊, 馬場 俊孝

Table with 2 columns: Time/Session and Content. Rows include speakers like 今井 健太郎, 林 豊, etc.

#は招待講演

A会場(かでのホール) 午後 S08. 地震発生の物理	B会場(大会議室) 午後 S23. ベイズ統計学による地震データ解析とモデリングの深化 S05. 地球熱学 S15. 強震動・地震災害	C会場(820研修室) 午後 S01. 地震の理論・解析法 S03. 地殻変動・GNSS・重力	D会場(520研修室) 午後 S17. 津波 S04. テクトニクス
通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)	通常講演(講演時間12分・質疑応答3分)
16:00 S08-11 Short-duration tremorが示唆する、スロー地震断層帯の異常構造 *藤 亜希子 <sup>1</sup> 、成 正務 <sup>2</sup> 、Capdeville Yann <sup>3</sup> 、井出 哲 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学 地球惑星科学専攻、 <sup>2</sup> 中央研究院 地球科学研究所 台湾、 <sup>3</sup> ナント大学 フランス)	16:00 休憩	16:00 S03-02 南海トラフ地震発生帯に展開されたDONET水圧計による長期海底地殻変動計測 *町田 祐弥、西田 周平、松本 浩幸、荒木 英一郎(海洋研究開発機構 海域地震火山部門)	16:00 S17-13 Progress in Preparing a Draft 10-Year Research, Development, and Implementation Plan for Ocean Decade Tsunami Programme (2021-2030) *林 豊 <sup>1</sup> 、TUMMALA Srinivas Kumar <sup>2</sup> 、ANGOVE Michael <sup>3</sup> 、BARRIENTOS Sergio <sup>4</sup> 、CHACON Silvia <sup>5</sup> 、COETZEE David <sup>6</sup> 、von HILLEBRANDT-ANDRADE Christa <sup>7</sup> 、RABINOVICH Alexander <sup>8</sup> 、RAHAYU Harkunti Pertiwi <sup>9</sup> 、SCHINDELE Francois <sup>10</sup> 、YAHAV Amir <sup>11</sup> 、ALIAGA ROSSEL Bernardo <sup>12</sup> 、BAILEY Rick John <sup>13</sup> 、CHANG-SENG Denis <sup>12</sup> 、HAIDAR Angelos <sup>12</sup> ( <sup>1</sup> Meteorological Research Institute, Japan Meteorological Agency, <sup>2</sup> Indian National Centre for Ocean Information Services, <sup>3</sup> National Oceanic and Atmospheric Administration, USA, <sup>4</sup> National Seismic Centre, University of Chile, <sup>5</sup> Costa Rica National Tsunami Warning System, National University of Costa Rica, <sup>6</sup> National Emergency Management Agency, New Zealand, <sup>7</sup> Caribbean Office, International Tsunami Information Center, NOAA, USA, <sup>8</sup> Tsunami Laboratory, Shirshov Institute of Oceanology, Russian Academy of Sciences, <sup>9</sup> Institute of Technology Bandung, Indonesia, <sup>10</sup> National Tsunami Warning Center, Atomic Energy and Alternative Energies Commission, France, <sup>11</sup> National Emergency Management Authority, Israel, <sup>12</sup> Intergovernmental Oceanographic Commission, UNESCO, <sup>13</sup> Bureau of Meteorology, Australia)
16:15 S08-12 パークフィールドの深部低周波地震が横ずれ断層型である直接的証拠 *麻生 尚文 <sup>1</sup> 、麻生 未季 <sup>2</sup> 、Shelly David <sup>3</sup> 、井出 哲 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 東京工業大学、 <sup>2</sup> 応用RMS、 <sup>3</sup> アメリカ地質調査所、 <sup>4</sup> 東京大学)	16:15 S05-01 秋田県大沼・澄川での地熱坑井内の光ファイバーによる分布型温度(DTS)、振動計測(DAS)を用いた地熱構造調査 *笠原 順三 <sup>1,2</sup> 、羽佐田 葉子 <sup>2,3</sup> 、三ヶ田 均 <sup>4</sup> 、大沼 寛 <sup>2</sup> 、藤瀬 吉博 <sup>2,5</sup> ( <sup>1</sup> 静岡大学防災総合センター、 <sup>2</sup> エンジニアリング協会、 <sup>3</sup> 大和探査株式会社、 <sup>4</sup> 京都大学工学研究科、 <sup>5</sup> WELMA)	16:15 S03-03 海底光ファイバー歪計で観測した南海トラフの浅部ゆくり滑りとそれに伴う超低周波地震活動について *荒木 英一郎 <sup>1</sup> 、横引 貴史 <sup>1</sup> 、馬場 慧 <sup>1</sup> 、山本 揚二郎 <sup>1</sup> 、Zumberge Mark <sup>2</sup> 、西田 周平 <sup>1</sup> 、町田 祐弥 <sup>1</sup> 、松本 浩幸 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構 海域地震火山部門、 <sup>2</sup> スクリップス海洋研究所)	16:15 休憩
16:30 休憩	16:30 S15-01 岩盤・硬質地盤における簡易微動アレイ探査 *長 都夫(産業技術総合研究所 地質情報研究部門)	16:30 S03-04 能登半島北部で2020年末から活発化した地震活動に伴う地殻変動のSentinel-1 SAR時系列解析による検出 *木下 陽平(筑波大学)	座長 深畑 幸俊
座長 久保田 達矢、矢部 優	16:45 S15-02 Near-Field Ground Motion Simulation based on Depth-Dependent Stress Accumulation Model II, Application to 2014 Northern-Nagano Earthquake *津田 健一 <sup>1</sup> 、青地 秀雄 <sup>2,3</sup> 、吉田 昌平 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 清水建設(株)技術研究所 安全安心技術センター、 <sup>2</sup> BRGM、 <sup>3</sup> Laboratoire de Geologie, Ecole Normale Supérieure, CNRS UMR 8538, PSL Research University、 <sup>4</sup> 大崎総合研究所)	16:45 休憩	16:30 S04-01 CMT解による観測点補正値を用いた沖縄本島南東沖の地震の震源再決定 *小松 直正 <sup>1</sup> 、喜多村 萌 <sup>1,2</sup> 、竹中 博士 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 岡山大学、 <sup>2</sup> 岡山大学(現在:気象庁))
16:45 S08-13 理論テストによる並進・歪ジョイントCMT解析の精度検証 *矢部 優、今西 和俊(産業技術総合研究所 地質調査総合センター)	17:00 S15-03 四半世紀超のK-NET・KIK-net強震データにおける大振幅地震動 *青井 真、切刀 卓、鈴木 豆、藤原 広行(防災科学技術研究所)	17:00 S03-05 ひずみ集中帯における稠密GNSS観測 一山陰及び有馬-高槻断層帯における詳細速度分布 *西村 卓也(京都大学)	16:45 S04-02 九州下におけるホットプレートがフィリピン海スラブの屈曲に及ぼす影響(2) *香西 夏葵 <sup>1</sup> 、末永 伸明 <sup>2</sup> 、吉岡 祥一 <sup>2,1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大学 大学院理学研究科 惑星学専攻、 <sup>2</sup> 神戸大学 都市安全研究センター)
17:00 S08-14 地震で即時に生じる重力場変動の弾性歪み計測による検出可能性 *河合 貫太郎、亀 伸樹、綿田 辰吾、新谷 昌人(東京大学地震研究所)	17:15 S15-04 観測できていない強烈な衝撃的鉛直地震波動について 一その7一 一この地震波の発生が危ぶまれる地盤変動の兆候一 *前原 博(一般財団法人地球システム総合研究所)	17:15 S03-06 Second-order smoothness prior over the Delaunay Tessellation and its application to gravity Bayesian inversion *牛 源源 <sup>1</sup> 、庄 建倉 <sup>2,1</sup> ( <sup>1</sup> 総合研究大学院大学、 <sup>2</sup> 統計数理研究所)	17:00 S04-03 The geodynamic evolution of the Mexican subduction zone as an effect of the movement of the Chortis Block *Moreno Erika <sup>1,2</sup> 、Manea Marina <sup>2,1</sup> 、Manea Vlad <sup>2,1</sup> ( <sup>1</sup> Kobe University、 <sup>2</sup> Centro de Geociencias, Universidad Autónoma de México)
17:15 S08-15 広域応力場からWallace - Bott仮説を用いて断層すべり角を推定する手法の検証 一微小地震発震機構解カタログを対象に一 *石辺 岳男 <sup>1,2</sup> 、寺川 寿子 <sup>3</sup> 、橋間 昭徳 <sup>4</sup> 、望月 将志 <sup>5</sup> 、松浦 律子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 公益財団法人 地震予知総合研究振興会 地震調査研究センター、 <sup>2</sup> 統計数理研究所、 <sup>3</sup> 名古屋大学、 <sup>4</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>5</sup> 防災科学技術研究所)	17:30 S15-05 展示状態の文化財の地震時損傷防止に関する検討 一日本刀の振動実験一 *平井 敬 <sup>1</sup> 、手塚 朋子 <sup>2</sup> 、高野 美希 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大学、 <sup>2</sup> 東建コーポレーション)	17:30 S03-07 神岡レーザーひずみ計で観測された2022フンガ・トンガ噴火に伴うひずみと気圧の変動 *高森 昭光 <sup>1</sup> 、新谷 昌人 <sup>1</sup> 、三代 浩世希 <sup>2</sup> 、鷲見 貴生 <sup>3</sup> 、横澤 孝章 <sup>2</sup> 、早河 秀章 <sup>2</sup> 、大橋 正健 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 東京大学宇宙線研究所、 <sup>3</sup> 国立天文台)	
17:30 S08-16 ニュージーランド南島北西部の応力場と発生した地震の断層面との関係(3) *田上 綾香 <sup>1</sup> 、松野 愛弥 <sup>1</sup> 、岡田 知己 <sup>1</sup> 、松本 聡 <sup>2</sup> 、河村 優太 <sup>2</sup> 、飯尾 能久 <sup>3</sup> 、佐藤 将 <sup>1</sup> 、平原 聡 <sup>1</sup> 、木村 洲徳 <sup>1</sup> 、Bannister Stephen <sup>4</sup> 、Ristau John <sup>4</sup> 、Savage Martha <sup>5</sup> 、Thurber Clifford <sup>6</sup> 、Sibson Richard <sup>7</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター、 <sup>2</sup> 九州大学大学院理学研究院附属地震火山観測研究センター、 <sup>3</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>4</sup> GNS Science, New Zealand、 <sup>5</sup> Victoria University of Wellington, New Zealand、 <sup>6</sup> University of Wisconsin - Madison, United States of America、 <sup>7</sup> University of Otago, New Zealand)	17:45 S08-17 鳥取県西部地域における断層の方位分布 一稠密地震観測による一 *飯尾 能久 <sup>1</sup> 、満点 地震観測グループ <sup>2</sup> 、鳥取県西部 満点地震観測班 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> 所属機関なし)		

#は招待講演

## ポスター発表 10月25日(火)09:30~12:00 ポスター会場 S04P(1010会議室)／S15P(1050,1060会議室)

S04P. テクトニクス	S15P. 強震動・地震災害
S04P-01 チリ沈み込み帯南部における3次元温度構造・脱水分布と海溝型巨大地震・通常地震・火山列との関連性 *岩本 佳耶 <sup>1</sup> 、末永 伸明 <sup>2</sup> 、吉岡 祥一 <sup>2,1</sup> 、Ortega Culaciati Francisco Hernan <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大学 大学院理学研究科、 <sup>2</sup> 神戸大学都市安全研究センター、 <sup>3</sup> チリ大学 物理数学部 地球物理学科)	S15P-01 条件付き敵対的生成ネットワークとスペクトルインバージョン解析による時刻歴波形生成 *山口 純輝、友澤 裕介、吉田 康仁、坂 敏秀、波多野 僚(鹿島建設株式会社 技術研究所)
S04P-02 関東地方下深部太平洋スラブ内の低速度異常 *宮崎 一希、中島 淳一(東京工業大学理学院地球惑星科学系)	S15P-02 条件付き敵対的生成ネットワークで作成した時刻歴波形の逆問題への適用 *友澤 裕介、引田 智樹、山口 純輝(鹿島技術研究所)
S04P-03 S-netデータによる東日本前弧域の構造と地震テクトニクス *趙 大鵬、片山 悠、豊国 源知(東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター)	S15P-03 不均質な地下構造の影響を考慮した地震波エンベロープを利用した震源放射エネルギーの推定 *小木曾 仁(気象研究所)
S04P-04 紀伊半島北部におけるテクトニック微動の放射エネルギーを用いた地殻変動量の推定 *山本 史、平松 良浩(金沢大学)	S15P-04 階層パッチ構造を持つ震源モデルにおける地震発生層の影響 *後藤 浩之 <sup>1</sup> (京都大学)
S04P-05 ABICを用いた基底関数展開に基づくGNSSデータの解析による日本列島の歪み速度場 *深畑 幸俊 <sup>1</sup> 、岡崎 智久 <sup>2</sup> 、西村 卓也 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所 地震災害研究センター、 <sup>2</sup> 理化学研究所 革新知能統合研究センター)	S15P-05 アイソクロンバックプロジェクション法と経験的グリーン関数法に基づく2022年福島県沖の地震の震源モデル *佐藤 智美 <sup>1</sup> (清水建設)
	S15P-06 強震波形および断層変位に基づく2002年アラスカDenali地震 (Mw 7.9) の震源破壊過程の再検討 *郭 雨佳 <sup>1</sup> 、吉田 邦一 <sup>1</sup> 、宮腰 研 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 一般財団法人 地域地盤環境研究所、 <sup>2</sup> (株)大崎総合研究所)
	S15P-07 Near-Field Ground Motion Simulation based on Depth-Dependent Stress Accumulation Model I, Interpretation of the 2019 Mw4.9 Le Teil earthquake *Hideo AOCHI <sup>1,2</sup> , Kenichi Tsuda <sup>3</sup> , Shohei Yoshida <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> BRGM, <sup>2</sup> Laboratoire de Geologie, Ecole Normale Supérieure, CNRS UMR 8538, PSL Research University, <sup>3</sup> Institute of Technology Shimizu Corporation, <sup>4</sup> Ohsaki Research Institute Inc.)
	S15P-08 1923年関東地震の強震動シミュレーション:東京湾北部のSMGAの考察 *渡辺 哲史、鈴木 文乃、加藤 研一、神田 克久(小堀鐸二研究所)
	S15P-09 静岡県西部を対象とした南海トラフ巨大地震の長周期地震動シミュレーション *中村 武史(一般財団法人電力中央研究所)
	S15P-10 Simultaneous estimation of source, path, and site spectra from the S-net strong-motion records in the Japan Trench area *Dhakar Yadab Prasad <sup>1</sup> 、切刀 卓 <sup>1</sup> 、青井 真 <sup>1</sup> 、山中 浩明 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 東京工業大学)
	S15P-11 レーザー関数法により求めた勇払平野の堆積層構造と地震動増幅特性 *吉田 邦一 <sup>1</sup> 、染井 一寛 <sup>1</sup> 、宮腰 研 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> (一財)地域 地盤 環境 研究所、 <sup>2</sup> (株)大崎総合研究所)
	S15P-12 首都圏における再現期間に応じた応答スペクトルの評価 *早川 崇(清水建設株式会社 技術研究所)
	S15P-13 MeSO-net 地震観測地点における地表地震記録の推定 *先名 重樹(国立研究開発法人防災科学技術研究所)
	S15P-14 F-net広帯域強震記録で見た長周期地震動の減衰特性 *畑山 健(消防庁消防研究センター)
	S15P-15 過去26年間の全国を対象とした震度履歴の推定 *中村 洋光 <sup>1</sup> 、岩波 良典 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 三菱電機ソフトウェア(株))
	S15P-16 2022年京都府南部を震源とする地震群による京都盆地西端の地震動特性 *赤澤 隆士 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> (一財)地域 地盤 環境 研究所)
	S15P-17 深度カメラと機械学習を用いた低コスト室内3Dモデル構築手法の開発と地震時挙動シミュレーションへの適用 *高橋 佑汰 <sup>1</sup> 、上松 大輝 <sup>1</sup> 、金 亜伊 <sup>1</sup> 、正月 俊行 <sup>2</sup> 、中西 良成 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 横浜市立大学、 <sup>2</sup> 株式会社構造計画研究所)
	S15P-18 九州新幹線沿線に既設の光ファイバーケーブルを用いたDAS地震観測 *片上 智史 <sup>1</sup> 、野田 俊太 <sup>1</sup> 、是永 将宏 <sup>1</sup> 、荒木 英一郎 <sup>2</sup> 、高橋 成実 <sup>3</sup> 、岩田 直泰 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> (公財)鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター 地震解析、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 防災科学技術研究所)

## ポスター発表 10月25日(火)14:00~17:30 ポスター会場 S02P(1070会議室)／S06P(1030会議室)／S07P, S10P, S11P(1040会議室)／S13P, S19P(1020会議室)

S02P. 地震計測・処理システム	S07P. 地球及び惑星の内部構造と物性	S11P. 地震に伴う諸現象
S02P-01 震源位置とマグニチュードから推定する簡易的震度分布構造作成への試み *関根 秀太郎(公益財団法人 地震予知総合研究振興会)	S07P-01 日本列島下のマントル遷移層底部における二重不連続面か? *久家 慶子(京都大学大学院理学研究科地球物理学教室)	S11P-01 Dynamic Stress Transfer in a Layered Granular Slope *上西 幸司、笹内 秀人、喜 東昶(東京大学)
S02P-02 波面の観測点からの逆伝播を利用した簡易震源推定方法の実データへの適用 *関口 渉次(防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター)	<b>S10P. 活断層・歴史地震</b>	<b>S13P. 地殻流体と地震</b>
S02P-03 地震波形データを用いたDONET地震計の方位推定 *有吉 慶介 <sup>1</sup> 、堀川 博紀 <sup>1</sup> 、矢田 修一郎 <sup>1</sup> 、中野 優 <sup>1</sup> 、山本 揚二郎 <sup>1</sup> 、末木 健太郎 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)	S10P-01 宮城県中部、奥羽脊梁山脈東縁沿いの断層変位地形:M7クラスの地震発生の可能性 *田力 正好 <sup>1</sup> 、越後 智雄 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 公益財団法人 地震予知総合研究振興会 地震調査研究センター 解析部、 <sup>2</sup> 株式会社環境地質)	S13P-01 地震後のゆっくりとした地殻歪変化についての考察ー産総研の土佐清水松尾観測点の場合ー *北川 有一、松本 則夫(産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 地震地下水研究グループ)
S02P-04 DASで捉えた人工振動の振幅について *田中 昌之、小林 昭夫(気象庁気象研究所地震津波研究部)	S10P-02 北海道東部に分布する標津断層帯の断層変位地形と平均変位速度 *吉妻 崇 <sup>1</sup> 、廣内 大助 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人産業技術総合研究所、 <sup>2</sup> 信州大学教育学部)	<b>S19P. 地震一般・その他</b>
S02P-05 海洋モデルを用いた海底圧力計からのスロースリップによる変動の抽出 *佐藤 利典 <sup>1</sup> 、鈴木 雅博 <sup>1</sup> 、村田 耕一 <sup>1,2</sup> 、碓氷 典久 <sup>3</sup> 、塩原 肇 <sup>4</sup> 、山田 知朗 <sup>4</sup> 、篠原 雅尚 <sup>4</sup> ( <sup>1</sup> 千葉大・理、 <sup>2</sup> 応用地質株式会社、 <sup>3</sup> 気象研、 <sup>4</sup> 東大・地震研)	S10P-03 横手盆地東縁断層帯に平行する測線における反射法地震探査からみた地下構造 *高橋 秀穂 <sup>1</sup> 、木村 治夫 <sup>1</sup> 、青柳 恭平 <sup>1</sup> 、戸村 元史 <sup>2</sup> 、野田 克也 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 電力中央研究所、 <sup>2</sup> 株式会社 ジオシス)	S19P-01 能登半島北東部の地震活動に対する住民の防災意識に関するアンケート調査 *杉井 天音 <sup>1</sup> 、赤坂 和泉 <sup>2</sup> 、大鷲 晴香 <sup>2</sup> 、佐渡 喬介 <sup>2</sup> 、坂東 卓 <sup>2</sup> 、村田 晶 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大学、 <sup>2</sup> 石川県立飯田高校)
S02P-06 千葉県における地震被害予測システム *大井 昌弘 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>1</sup> 、五十嵐 光嗣 <sup>2</sup> 、吉岡 薫 <sup>2</sup> 、潮崎 翔一 <sup>2</sup> 、浅尾 一己 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 国立研究開発法人 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 千葉県)	S10P-04 重力異常で探る中国地方の横ずれ断層のインバージョン:長者ヶ原ー芳井断層および大原湖断層における解析例 *澤田 明宏 <sup>1</sup> 、平松 良浩 <sup>1</sup> 、松井 佑樹 <sup>1</sup> 、杉井 天音 <sup>1</sup> 、深田 雅人 <sup>1</sup> 、山本 史 <sup>1</sup> 、本多 亮 <sup>2</sup> 、岡田 真介 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 金沢大学理工研究域地球社会基盤学系、 <sup>2</sup> 富士山科学研究所、 <sup>3</sup> 岩手大学)	S19P-02 NASA火星内部構造探査InSightで取得された地震および気象データの利用案内 *小野寺 圭祐 <sup>1</sup> 、川村 太一 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> パリ地球物理研究所)
S02P-07 千葉県におけるS-netを用いた津波浸水予測システム *高橋 成実 <sup>1</sup> 、大井 昌弘 <sup>1</sup> 、五十嵐 光嗣 <sup>2</sup> 、吉岡 薫 <sup>2</sup> 、潮崎 翔一 <sup>2</sup> 、浅尾 一己 <sup>1</sup> 、鈴木 亘 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 千葉県)	S10P-05 内陸活断層による都市直下地震動予測の高度化ー断層浅部の地質情報を考慮した断層モデルの検討 *栗松 君衣 <sup>1</sup> 、吉見 瑤子 <sup>1</sup> 、高橋 直也 <sup>2</sup> 、中村 朋輝 <sup>2</sup> 、石澤 堯史 <sup>1</sup> 、岡田 真介 <sup>3</sup> 、鈴木 晴彦 <sup>4</sup> 、市川 八州夫 <sup>4</sup> 、松山 尚典 <sup>4</sup> 、遠田 晋次 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大学災害科学国際研究所、 <sup>2</sup> 東北大学大学院理学研究科、 <sup>3</sup> 岩手大学理工学部、 <sup>4</sup> 応用地質株式会社)	S19P-03 S-netデータを用いた福島県沖の震源決定への観測点補正値の影響 *百本 直輝、津村 紀子(千葉大学)
S02P-08 MQTTプロトコルを用いたWINシステム用リアルタイム表示システムの開発 *鶴岡 弘(東京大学地震研究所)		
<b>S06P. 地殻構造</b>		
S06P-01 南海トラフ域の海底地震計データを用いたS波構造推定の試み *仲西 理子 <sup>1</sup> 、Liu Xin <sup>1</sup> 、Qin Yanfang <sup>1</sup> 、藤江 剛 <sup>1</sup> 、汐見 勝彦 <sup>2</sup> 、小平 秀一 <sup>1</sup> 、高橋 成実 <sup>2</sup> 、中村 武史 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>3</sup> 電力中央研究所)	S10P-06 1498年明応東海地震に先行した明応二年十月二十九日(1493年12月7日)の大地震 *原田 智也 <sup>1</sup> 、西山 昭仁 <sup>2</sup> 、片桐 昭彦 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 所属機関なし、 <sup>2</sup> 奈良文化財研究所、 <sup>3</sup> 新潟大学災害・復興科学研究所)	
S06P-02 東海地域におけるスロー地震発生域の地下構造 *上野 友岳 <sup>1</sup> 、浅野 陽一 <sup>1</sup> 、武田 哲也 <sup>1</sup> 、小原 一成 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)	S10P-07 1914年桜島地震に伴う津波の原因についての考察 *小林 励司(鹿児島大学)	
S06P-03 ニュージーランド北島北東沖の付加体及び浅部スロースリップ発生域へのAdjoint tomographyの適用 *足立 舜 <sup>1</sup> 、Bryant Chow <sup>2</sup> 、金子 善宏 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学、 <sup>2</sup> アラスカ大学フェアバンクス校)		
S06P-04 下北地震観測網AS-netによる東北地方北部および北海道西部の地震活動および低周波地震活動と地下速度構造との関係 *野口 科子((公財)地震予知総合研究振興会 地震防災調査研究部)		
S06P-05 埼玉県江面町での反射法探査ー反射面傾斜角の深さ依存性の検出ー *大滝 壽樹 <sup>1</sup> 、加野 直己 <sup>2</sup> 、横倉 隆伸 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報研究部門、 <sup>2</sup> 元 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 地質情報研究部門)		
S06P-06 反射法地震探査における減衰率計算手法の高精度化に関するニューラルネットワークを用いた反射波の判別の試み *川邊 春佳、鶴 哲郎(東京海洋大学)		
S06P-07 インド洋ロドリゲス三重会合点付近、かいれい熱水域における人工及び自然地震による地震波速度構造 *森井 彩斗 <sup>1</sup> 、佐藤 利典 <sup>1</sup> 、高田 裕能 <sup>1</sup> 、山田 知朗 <sup>2</sup> 、篠原 雅尚 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 千葉大学、 <sup>2</sup> 東京大学)		
S06P-08 浅間山の3次元V <sub>SV</sub> 、V <sub>SH</sub> 構造 *長岡 優 <sup>1</sup> 、西田 究 <sup>2</sup> 、青木 陽介 <sup>2</sup> 、武尾 実 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 神奈川県温泉地学研究所、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)		

10月26日(水) 口頭発表

Table with 4 columns: A会場 (かでのホール) 午前 S08. 地震発生の物理, B会場 (大会議室) 午前 S15. 強震動・地震災害, C会場 (820研修室) 午前 S03. 地殻変動・GNSS・重力, D会場 (520研修室) 午前 S07. 地球及び惑星の内部構造と物性 S18. 地震教育・地震学史. Rows contain session details including time, speaker names, and topics.

#は招待講演

## ポスター発表 10月26日(水)09:30~12:00 ポスター会場 S09P(1020,1040,1060会議室)

### S09P. 地震活動とその物理

S09P-01	白山火山直下で発生した地震活動(2017年10月-2021年09月)の解析 *深田 雅人、平松 良浩(金沢大学)
S09P-02	1944年東南海・1946年南海地震による西南日本の内陸断層における応力変化 *橋間 昭徳 <sup>1</sup> 、堀 高峰 <sup>1</sup> 、飯沼 卓史 <sup>1</sup> 、村上 颯太 <sup>2</sup> 、市村 強 <sup>2</sup> 、藤田 航平 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)
S09P-03	長期的スロースリップイベント時に上昇する豊後水道の深部微動の潮汐相関 *弘瀬 冬樹、小林 昭夫、前田 憲二(気象研究所 地震津波研究部)
S09P-04	余震数と余震継続時間に注目した内陸大地震の余震活動解析 *本多 泰知、山田 卓司(茨城大学)
S09P-05	2011年東北地方太平洋沖地震の震源域周辺における2021年以降に発生した大地震に伴うプレート間非地震性すべり *五十嵐 俊博(東京大学地震研究所)
S09P-06	茨城県南西部におけるスロースリップ発生域周辺の地震波減衰の時間変化 *伊藤 陽介、中島 淳一(東京工業大学院)
S09P-07	能登半島で発生している群発地震について *勝間田 明男 <sup>1</sup> 、島 淳元 <sup>1</sup> 、西宮 隆仁 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 富山大学、 <sup>2</sup> 気象研究所)
S09P-08	2011年東北地方太平洋沖地震前後における太平洋プレート内二重深発地震の発震機構の時間変化:東北直下の場合 *川辺 俊輔、佐藤 利典(千葉大・理)
S09P-09	跡津川断層帯付近の東北地方太平洋沖地震前後におけるcoda Qの時間変化 *河尻 茉歩、平松 良浩(金沢大学)
S09P-10	地震波速度急勾配域で発生した2022年3月18日岩手県沖の地震 *松原 誠 <sup>1</sup> 、佐藤 比呂志 <sup>2</sup> 、越谷 信 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 静岡大学防災総合センター、 <sup>3</sup> 岩手大学理工学部)
S09P-11	富士山の低周波地震の検知と統計解析 *楠城 一嘉 <sup>1,2,3</sup> 、行竹 洋平 <sup>4</sup> 、熊澤 貴雄 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 静岡県立大学、 <sup>2</sup> 静岡大学、 <sup>3</sup> 統計数理研究所、 <sup>4</sup> 東京大学)
S09P-12	紀伊半島南東沖における稠密海底地震計アレイを用いた2020年12月に開始した浅部スロー地震活動の観測 *根岸 幹 <sup>1</sup> 、小原 一成 <sup>1</sup> 、武村 俊介 <sup>1</sup> 、悪原 岳 <sup>1</sup> 、山下 裕亮 <sup>2</sup> 、杉岡 裕子 <sup>3</sup> 、篠原 雅尚 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>3</sup> 神戸大学)
S09P-13	Slow Earthquakes in the Japan Trench *西川 友章 <sup>1</sup> 、井出 哲 <sup>2</sup> 、西村 卓也 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>2</sup> 東京大学理学部)
S09P-14	S-net(日本海溝海底地震津波観測網)データを用いた最近6年間(2016年4月-2022年3月)の震源分布 *西澤 あずさ、望月 将志、植平 賢司(防災科学技術研究所)
S09P-15	大阪府北部地域で発生する内陸地震の深さ依存性について *大野 遼太 <sup>1</sup> 、飯尾 能久 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻、 <sup>2</sup> 京都大学防災研究所)
S09P-16	Report from 5 years Ocean Bottom Seismometer observations in Suruga Bay *バナヨトブロス ヤニス <sup>1</sup> 、阿部 信太郎 <sup>1</sup> 、馬場 久紀 <sup>2</sup> 、中尾 風佐 <sup>2</sup> 、西宮 隆仁 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 地震予知総合研究振興会、 <sup>2</sup> 東海大学、 <sup>3</sup> 気象庁気象研究所)
S09P-17	西南日本全域の微動マイグレーションの網羅的な抽出とその特徴 *寒河江 皓大 <sup>1</sup> 、内出 崇彦 <sup>1</sup> 、松澤 孝紀 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 産業技術総合研究所 地質調査総合センター、 <sup>2</sup> 防災科学技術研究所)
S09P-18	三次元地震波速度構造を用いた自動震源決定システムの構築~南海トラフ周辺を対象として *汐見 勝彦、松原 誠、関口 渉次(防災科学技術研究所)
S09P-19	能登半島北東部における群発地震の震源メカニズム解の決定 *高野 彩香、平松 良浩(金沢大学)
S09P-20	南海トラフの超低周波地震検知下限の推定 *武村 俊介 <sup>1</sup> 、馬場 慧 <sup>2</sup> 、矢部 優 <sup>3</sup> 、山下 裕亮 <sup>4</sup> 、汐見 勝彦 <sup>5</sup> 、松澤 孝紀 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学地震研究所、 <sup>2</sup> 海洋研究開発機構、 <sup>3</sup> 産業技術総合研究所、 <sup>4</sup> 京都大学防災研究所、 <sup>5</sup> 防災科学技術研究所)
S09P-21	DONET2観測網による超低周波地震の時空間分布 -2022年1月から3月の活動- *山本 揚二郎、矢田 修一郎、有吉 慶介、中野 優、堀 高峰(海洋研究開発機構)
S09P-22	S-net海底地震計を用いた日本海溝で発生した地震のセントロイド・モーメントテンソルインバージョン *山谷 里奈 <sup>1</sup> 、久保 久彦 <sup>1</sup> 、汐見 勝彦 <sup>1</sup> 、武村 俊介 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 防災科学技術研究所、 <sup>2</sup> 東京大学地震研究所)
S09P-23	沈み込み帯におけるモーメントマグニチュード偏差の空間分布 -関東地方を対象とした地震活動との比較- *吉本 和生、長谷川 隼也(横浜国立大学大学院生命ナノシステム科学研究科)

## ポスター発表 10月26日(水)13:30~16:00 ポスター会場 S21P(1010,1030会議室)/S22P, S23P(1070会議室)

S21P. AIによる地震学の発展	S22P. 北海道周辺の沈み込み帯における地震・津波に関する諸現象	S23P. ベイズ統計学による地震データ解析とモデリングの深化
S21P-01	S22P-01	S23P-01
S21P-02	S22P-02	S23P-02
S21P-03	S22P-03	
S21P-04	S22P-04	
S21P-05	S22P-05	
S21P-06	S22P-06	
S21P-07		
S21P-08		
S21P-09		
S21P-10		
S21P-11		
S21P-12		
S21P-13		